

受賞おめでとうございます

松田さん（東町）・島さん（北見市）北海道社会貢献賞を受賞

社会福祉法人訓子府福祉会理事長の松田和之さんとくねっふ静寿園生活指導員の島ちおりさんが、北海道社会貢献賞を受賞しました。

松田さんは、平成5年5月から理事、平成15年5月から現在まで理事長として、長きにわたり社会福祉事業団体の要職にあり、北海道の民間社会福祉事業の発展に貢献されました。

また島さんは、平成2年から現在まで長きにわたり社会福祉事業施設の従事者として職務に精励され、北海道の社会福祉の増進に貢献されました。



困ったら一人で悩まず 「特設行政相談所」

行政相談委員は、毎日の暮らしの中で生じる、国や特殊法人への苦情、行政の仕組みや手続きに関する相談を受け付けています。

皆さんの意見・要望などを、総務大臣から委嘱を受けた行政相談委員がお聞きして解決を図ります。

相談は無料で、秘密は固く守られます。電話でも受け付けますので、気軽にご相談ください。

■このようなことはありませんか

- ・困りごとがあるが、どこに相談して良いかわからない
- ・役所の説明や事務の取り扱いに納得できない
- ・制度や仕組みを教えてください など

○と き 10月11日(金)

13時30分～15時30分

○ところ 役場相談室2（町民課横）

○相談委員 行政相談委員

清井久美子さん（西富）

○問合せ 町民課住民活動係

秋のすずらん無料法律相談を開催

このようなことでお困りではありませんか？

- ・お金を貸したのに返ってこない
- ・親が認知症となり、自分で財産管理ができなくなった
- ・離婚の際に約束した財産分与、慰謝料、養育費がもらえていない
- ・心当たりのない請求書が届いた など

「秋のすずらん無料法律相談」は、釧路弁護士会が主催する無料の法律相談で、弁護士の存在をより身近に感じてもらえるようにと、弁護士事務

所のない地域において実施しています。

本町でも、次のとおり開設されますので気軽にご相談ください。

相談するだけで解決できる悩みもあります。弁護士と顔を合わせて、問題やトラブルを整理することで解決策が見えてきます。ぜひこの機会に相談してみませんか。

○と き 10月17日(木) 13時30分～16時

○ところ 町公民館農事研修室

○担当弁護士 佐藤信孝弁護士（北見市）

※相談は無料ですが、予約制です。申し込みは10月15日(火)までに町民課住民活動係へ。

■問合せ 町民課住民活動係 ☎ 47-2203 役場1階窓口1番



訓子府高校は、昭和23年に現在の北見北斗高校の分校として開設され、地域に根差した教育の拠点として発展してきました。その後、学級間口の減など多くの変遷をたどってきた中、今年度の入学者数が大きく定員を下回りました。本町の将来を担う人材を育てる重要な教育機関である訓子府高校についての現状と今後についてシリーズで紹介いたします。

わたしたちの町の訓子府高校

■訓子府高校の歩み■

昭和23年11月に北海道北見高等学校（現北見北斗高等学校）訓子府分校（村立）として、夜間普通科の定時制で設立、その後、農業科、生活科が開設され、昭和39年には昼間定時制普通科を併設、本町の高等学校教育の基礎を築きました。

昭和49年に全日制普通科（2間口）に学科転換された後、地域の強い要望と関係機関の協力により昭和51年4月に道立高校に移管されました。

■少子化による高校配置計画■

訓子府中学校の生徒数が平成元年をピークに減少し始め、卒業者数は、平成26年以降に60名を下回り、現在は40名程度で推移しています。

こういった少子化の状況は管内でも同様で、訓子府高校を含む北見市近郊の中学区（1市5町）においても令和元年度現在、高校の定員数より300名程度、約8間口分の欠員がある状況で、北海道教育委員会では、今後の中学卒業生数減少を勘案しながら、高校の再編を含めた定員調整がなされる見込みです。

■魅力ある学校づくり■

訓子府高校は北見市が通学圏内ということもあり、北見市内校の補完校としての役割も担っています。その中でも、少人数教育を強みとした、きめ細やかで個々の学力に応じた学習指導、生徒個々の職業意識を高めるキャリア教育の推進、実践的な資格取得に向けた学習指導を実施しており、その結果、卒業生の進学、就職率100%を継続しています。

